

## 日々の田高（2年生 文学国語の授業から）

今回は、2年生の文学国語の授業を紹介します。3学期は、「『こころ』を深く読解すること」をテーマとして学習に取り組んでいます。

クラスを6人程度の班に分けて、本文の担当する範囲を決めます。担当範囲についてのあらすじを自分たちで考え、難しい語句を取り上げて、意味を調べます。そして、いよいよ本文を深く読み始めます。

本文中の「これは、どういう意味なんだろう?」と感じた部分をマークし、その言葉や文などの表現の意味することについて、一人ひとりが、根拠を示しながら、考えを共有していきます。

その後、クラス内でのプレゼンテーションのための準備を一人一台端末を活用して行います。最終的にクラス全体でのオリジナルな解釈が出来上がります。

写真は、クラス内での発表に向けて、様々な表現についての解釈をまとめ、プレゼンテーションデータを整えている様子です。図書館内資料を活用します。中には、登場人物の発言などから、関係性を図示しながら解釈していく班もあり、頼もしく感じました。

